

第5回学校運営協議会 13:30～（相談室）

1 校長挨拶

2 協議（司会：神林）

（1）令和5年度後期学校評価について（説明：校長）

・回答率 82 パーセント

・昨年7月、12月と比べて考察したもの

・確かな学力について「わからないことを自分から調べ興味をもって取り組んでいる」

→保護者はポイントアップ評価だが、子供はポイントダウンしているため、子供が実感できる取り組みが今後必要

・確かな学力について「読書が好き」

→子供8ポイントダウンしているため、好きになる取り組み推進が今後重要

・豊かな心「挨拶をすすんでしている。」

→少々ダウン。校長が毎朝、門に立って挨拶。また、委員会活動なども進めている。

・健やかな体「すすんで体を動かしている」

→長縄集会などを企画し、きっかけをつくった。

等

・学校アンケートのご意見について→別紙資料参照にて報告

意見

山本：学校アンケートで「算数が苦手。相談したくても相談しにくい。」というのはよくないですね。

→校長：その通りで、職員間で共通理解のもと、誰にでも相談しやすい環境をつくっていく。

→教頭：学校にはいろいろな職員がいることを発信している。今後も継続していく。皆が相談しやすい環境を。

山本：学力がなかなかあがらないのは、一気にとはいかないですね。

神林：学級の中にも幅がある。課題の出し方も真ん中をねらっていくことが必要になりますね。

子供によって、またご家庭によって同じ量のものを多いと感じるご家庭や少ないと感じるご家庭、様々ですから、そこも難しいですね。大事なことは、説明をして理解をしてもらうことです。

神林：学校アンケート結果などの資料を前もって配付ください。話し合いをスムーズに進めるために。

→教頭：宿題の出し方については、その通りに思っております。また、資料については、来年度そのようにいたします。申し訳ありません。

校内参観とアンケート記入

神林：授業参観を踏まえてまとめていきたいと思えます。

意見

「確かな学力について」

○関心が低いことについて

峰崎：ゆっくり時間をかけて興味をもってもらえるようにやるのが大事だが、学校は大変ですね。

横塚：好きじゃなくても勉強する気になるようにいかに工夫できるかが大事ですね。

来年度は、興味関心を育てることに注力することが大事。

「豊かな心について」

横塚：挨拶をすれば、いいことがあるという取り組みはよいと思う。最初の心がけが違って、その大切さに気づくことができれば。

山本：本来なら家庭でしっかり教育することだが、余裕がないんでしょうね。

峰崎：最初の一言が出るかどうか。大人から声をかけることも大事だと思う。

神林：「先生と話そう週間」がなくてもいつでも会話ができるのが一番よいと思う。言葉のキャッチボールを気軽にできるようにすることが大事。埋もれている子に声をかけてあげることしてほしい。

「健やかな体について」

宇田川：球技は楽しいスポーツ。工夫して実施すれば皆が楽しめる。ぜひ、進めてほしい。

3 今年度まとめ

校長：新しい時代にふさわしい形を模索した一年。運動会や音楽会の行い方。よいもの、必要なものを継続し、見直せるものはみなおし、今の子供たちにふさわしいものを模索しました。また、本会のご意見を来年度に生かしたい。特に、子供たちと教師がキャッチボールをし、授業を楽しむ、そのための努力が必要。来年度に向けて準備も進めていきます。今後もよろしくお願いいたします。

4 令和6年度学校運営方針について

校長：「令和6年度市川市立新井小学校グランドデザイン」（案）別紙にて説明

- ・目指すところと、具体的な内容を説明。（新しい学びの地図ととらえて）
- ・幸せを実感できる学校。よりよい生き方・人生。
- ・みんなが成長し、みんなを支え合える学校
- ・市の第4期教育振興基本計画に関連して学校教育目標を見直している。 等

意見

山本：学校教育目標の「学力向上推進校」とは？

校長：市より推進校として認定されている。今年度と来年度の期間となる。

山本：教師の指導力向上、頑張ってください。

校長：子供たちだけでなく、教職員も学び成長することを目標にと考えています。

加藤：子供たちのタブレット活用力がすごいと感心しているところではあるが、今後、小学校ではどこまでか。

校長：タブレットをどの学年でなにをするかという指導・活用内容を整理していきたい。

記録：教務